

## 海上自衛隊哨戒ヘリコプター（SH-60J）の不時着水

### 1 日 時：

平成21年12月8日（火）19時40分頃に緊急信号を受信

### 2 場 所：

長崎県西彼杵半島西方沖約27kmの海上

### 3 部隊等：

海上自衛隊大村航空基地 第22航空群 第22航空隊  
SH-60J 搭乗員3名

### 4 概 要：

12月8日の夜、海上自衛隊大村航空基地所属の哨戒ヘリコプター（SH-60J）が副操縦士養成訓練中に不時着水した。付近を飛行中の海上自衛隊のヘリコプターが海面に乗員1名を発見し救助。

9日、捜索中の掃海艇が海底に機体を発見。その後、機体内及び機体付近にそれぞれ1名の乗員を発見した。10日、両名を潜水艦救難艦にそれぞれ収容し、その後、死亡が確認された。

12日に海底から機体を引き揚げ、13日に大村航空基地に機体を搬入し、機体の調査及びフライト・データーレコーダーの解析を開始した。

### 5 推定原因：

事故当日（8日）、海上幕僚監部監察官を長とする事故調査委員会を設置し、事故原因について調査中。

